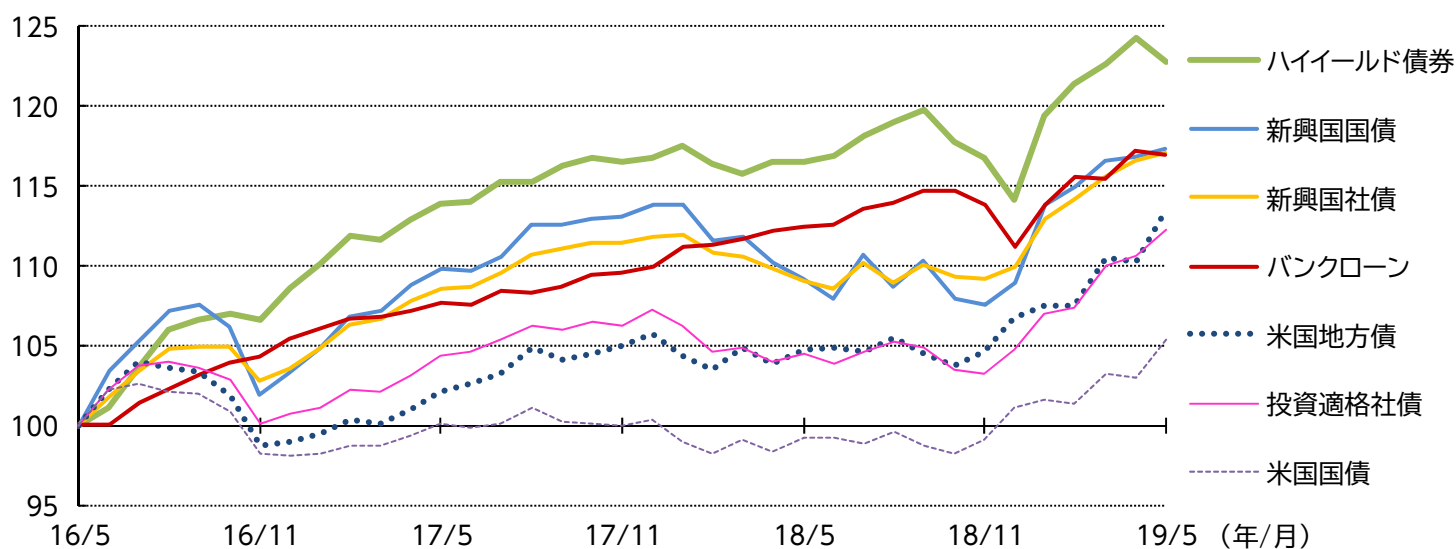


5月の市場の動き

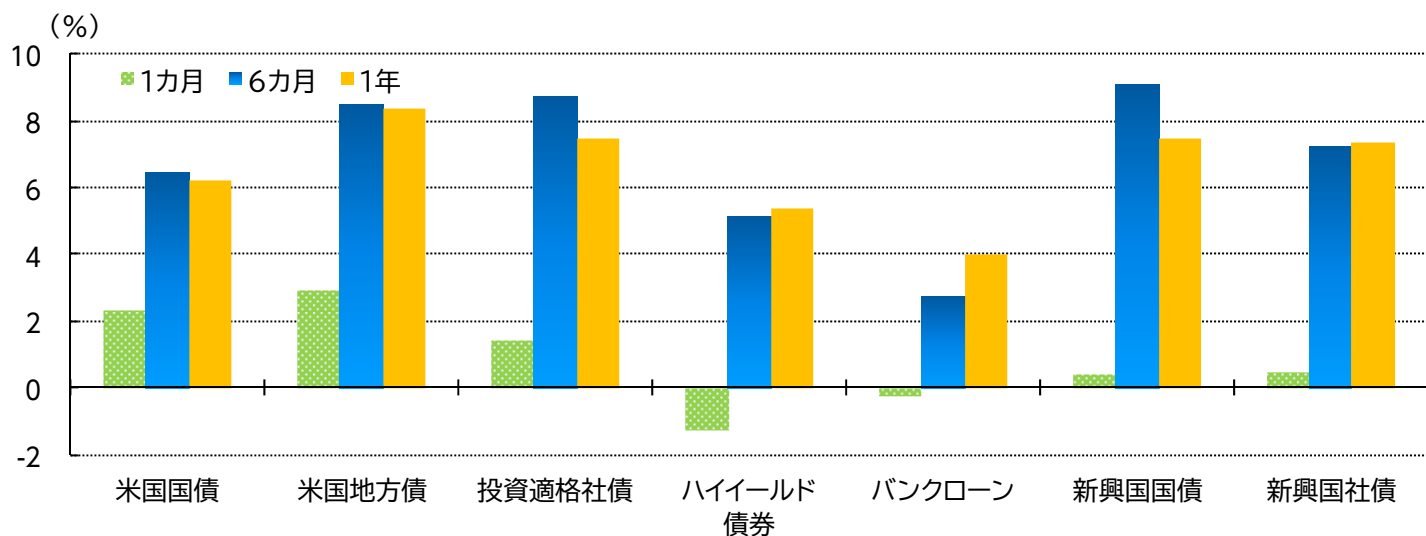
- 5月の米ドル建債券市場では、米中貿易摩擦の激化および長期化が意識され、リスク回避の動きが強まり、米国国債利回りは低下(価格は上昇)しました。一方で、先行きの景気減速懸念が強まったことなどから、ハイイールド債券の利回りは上昇(価格は下落)しました。
- 利回り水準は、6%台後半のハイイールド債券が最も高く、次いでバンクローン、新興国国債、新興国社債の順となり、その後に米国地方債、投資適格社債、米国国債と続きました。

各資産の推移(2016年5月末～2019年5月末、月次)(米ドルベース)



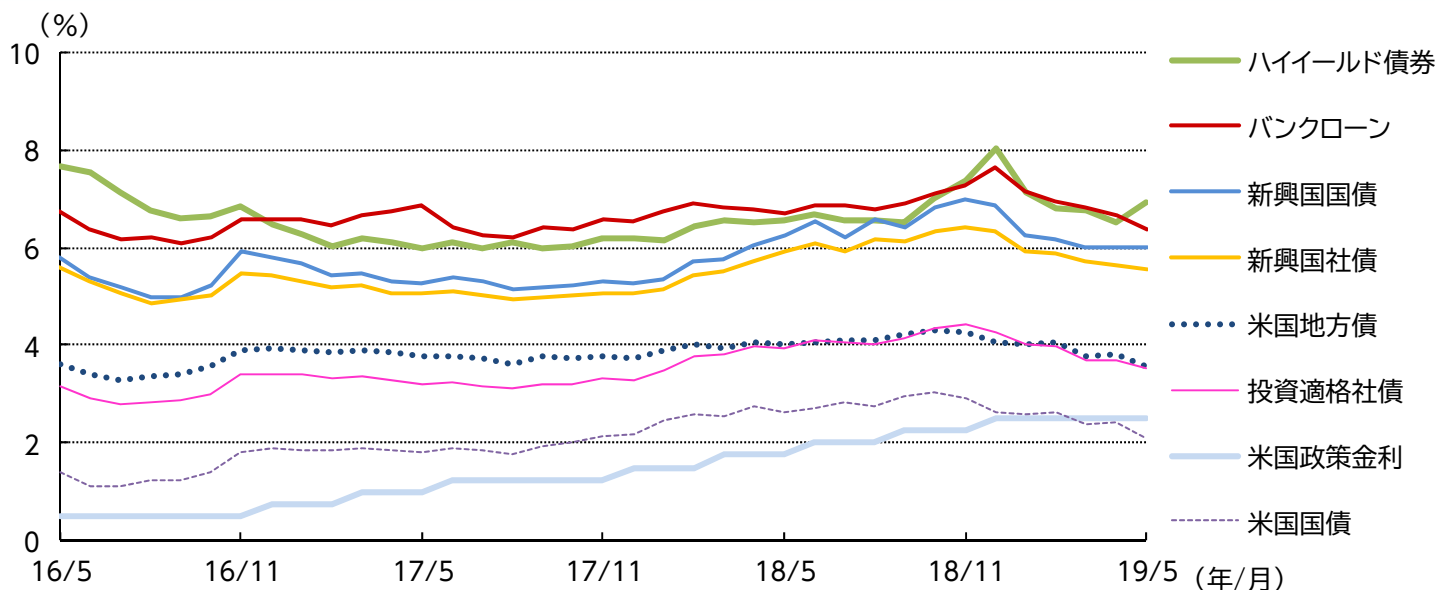
※グラフ開始日を100として指数化

各資産の期間別リターン(2019年5月末現在)(米ドルベース)



(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

米国政策金利と各資産の利回り推移 (2016年5月末～2019年5月末、月次)



各資産の利回り、デュレーション、格付 (2019年5月末現在)

	利回り	変化幅		デュレーション	格付
	5月末	1カ月	6カ月		
米国国債	2.091%	▲ 0.325	▲ 0.838	6.26年	AA+
米国地方債	3.549%	▲ 0.280	▲ 0.696	7.92年	AA
投資適格社債	3.517%	▲ 0.158	▲ 0.920	7.26年	A-
ハイールド債券	6.940%	0.417	▲ 0.429	3.83年	B+
バンクローン	6.380%	▲ 0.265	▲ 0.906	-	Split BB
新興国国債	5.989%	▲ 0.023	▲ 0.993	6.95年	BB+
新興国社債	5.563%	▲ 0.087	▲ 0.853	4.70年	BBB-

※格付は各債券インデックスの公表元の算出基準に基づきS&P表記で表示

※バンクローンはスプリット格(各格付機関による格付格差が生じている債券に対して使用されているもの)で表示

【当資料で使用している指数について】

米国国債: FTSE米国国債インデックス、米国地方債: S&P米国地方債インデックス(課税債)、投資適格社債: ICE BofAメリルリンチ・米国事業債インデックス、ハイールド債券: ICE BofAメリルリンチ・US・ハイールド債券インデックス、バンクローン: クレディ・スイス・レバレッジド・ローン・インデックス、新興国国債: JPモルガン EMBIグローバル・ディバースファイド、新興国社債: JPモルガン CEMBIブロード・ディバースファイド

(信頼できると判断したデータを基に三井住友トラスト・アセットマネジメント作成)

【ご留意事項】

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが投資判断の参考となる情報提供を目的として作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様に帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 当資料で使用している各指数に関する著作権等の知的財産権、その他の一切の権利はそれぞれの指数の開発元もしくは公表元に帰属します。